

2025年 1 月期 第 3 四半期 決算補足資料

株式会社シーイーシー (9692)

2024年12月9日

2025年1月期 第3四半期業績概要

- 業績は堅調に推移し売上高+5.0%、成長投資を含む販管費増により営業利益▲3.0%
- 通期業績予想に対し、売上高73.0%、営業利益76.3%の進捗率
- 受注高+5.6%、受注残高+2.5%と伸長、過去最高を更新

2025年1月期 業績見通し

- データセンター再編に伴う費用の一部を特別損失として計上
- 通期業績予想は上記影響に伴い、当期純利益を下方修正

株主還元

- 6月7日に30億円を上限とした自己株式の取得および今期内的での消却を決議
- 期末配当(30円)予想は変更なし

1. 2025年1月期 第3四半期経営成績

2. 2025年1月期 通期業績見通し

3. Appendix

- DX需要増加に伴い、**主力事業・注力事業ともに計画通り**に推移
- **成長投資による費用増**はあるが、**売上高・売上総利益は過去最高を更新**

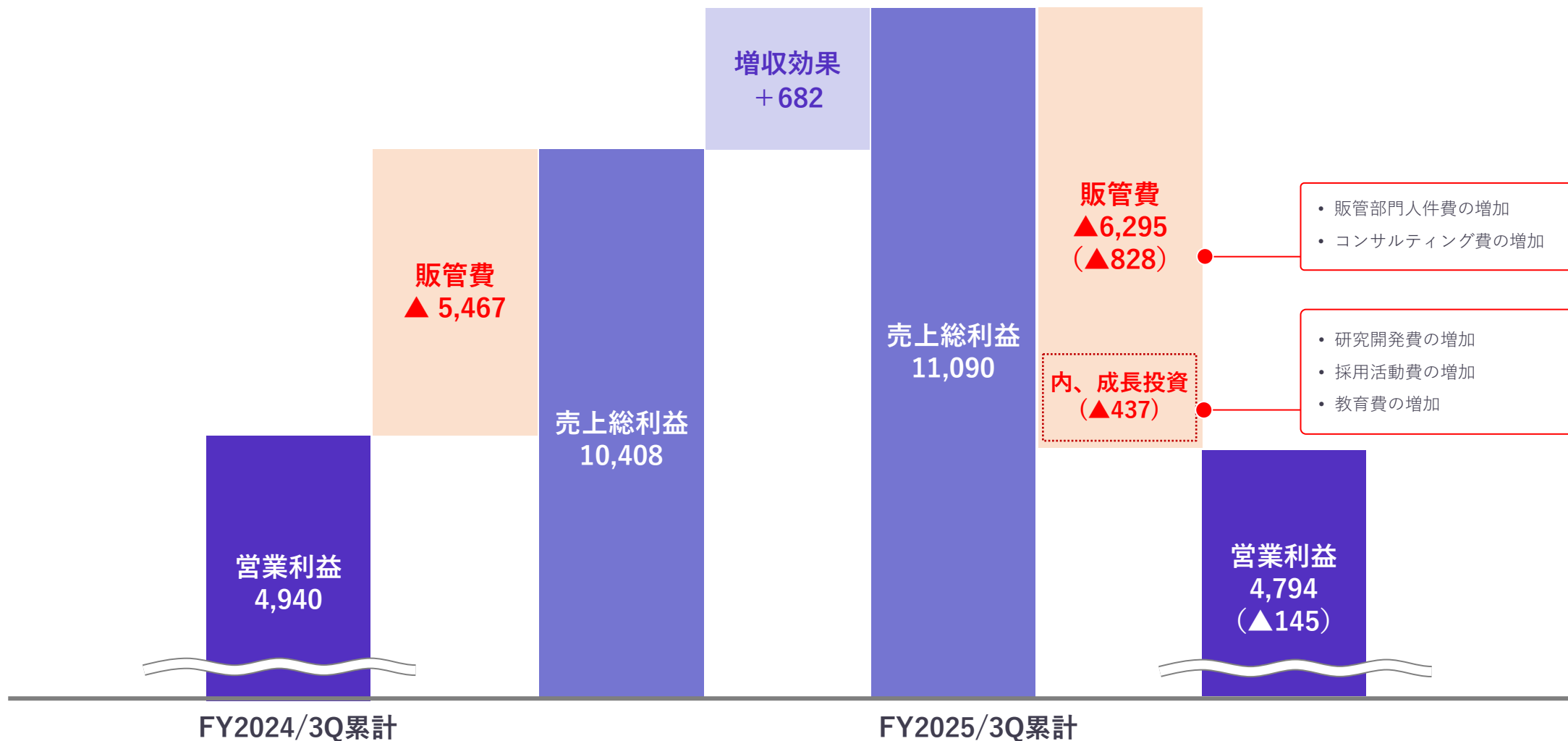
(単位：百万円)

	FY2024/3Q累計	FY2025/3Q累計	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	39,275	 41,223	+ 1,947	+ 5.0%
売上総利益	10,408	 11,090	+ 682	+ 6.6%
同率	26.5%	26.9%	—	+ 0.4pt
営業利益	4,940	4,794	▲145	▲3.0%
同率	12.6%	11.6%	—	▲1.0pt
経常利益	4,969	4,820	▲148	▲3.0%
同率	12.7%	11.7%	—	▲1.0pt
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,410	3,277	▲132	▲3.9%
同率	8.7%	8.0%	—	▲0.7pt

営業利益の主な増減要因

■ 売上総利益は過去最高を更新、成長投資を含む販管費は増加

(単位：百万円)



事業セグメント別業績

- デジタルインダストリーは、主力・注力事業ともに好調に推移し**増収・増益**
- サービスインテグレーションは、注力事業の伸長により**増収**も、大型案件の反動減により**減益**

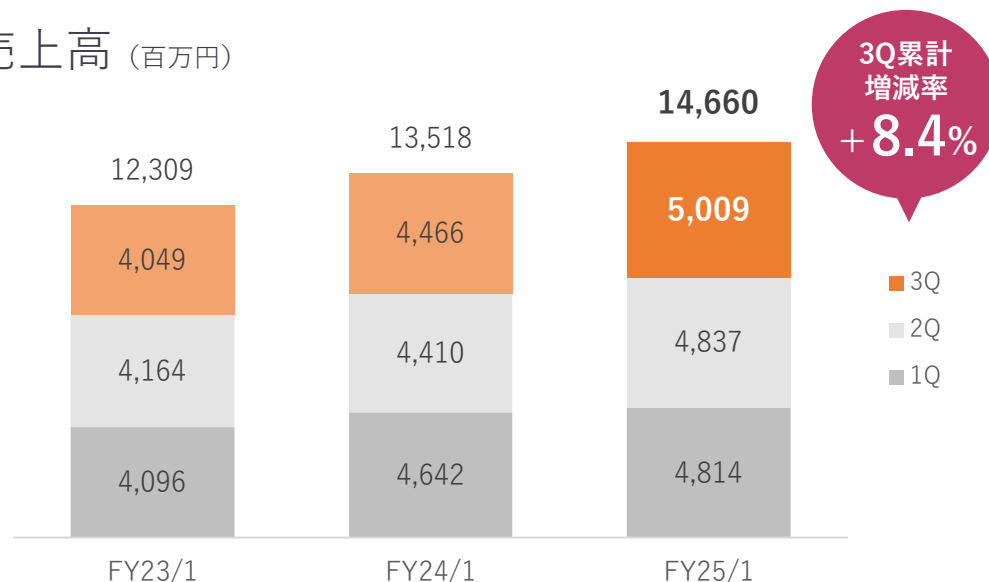
(単位：百万円)

	2024年1月期/3Q累計		2025年1月期/3Q累計		増減額	
	売上高	営業利益・率	売上高	営業利益・率	売上高 (増減率)	営業利益 (増減率)
デジタル インダストリー	13,518	3,073 22.7%	14,660	3,646 24.9%	+1,141 (+8.4%)	+572 (+18.6%)
サービス インテグレーション	25,757	4,992 19.4%	26,562	4,893 18.4%	+805 (+3.1%)	▲98 (▲2.0%)
全社費用※	—	▲3,125	—	▲3,745	—	▲619
合計	39,275	4,940 12.6%	41,223	4,794 11.6%	+1,947 (+5.0%)	▲145 (▲3.0%)

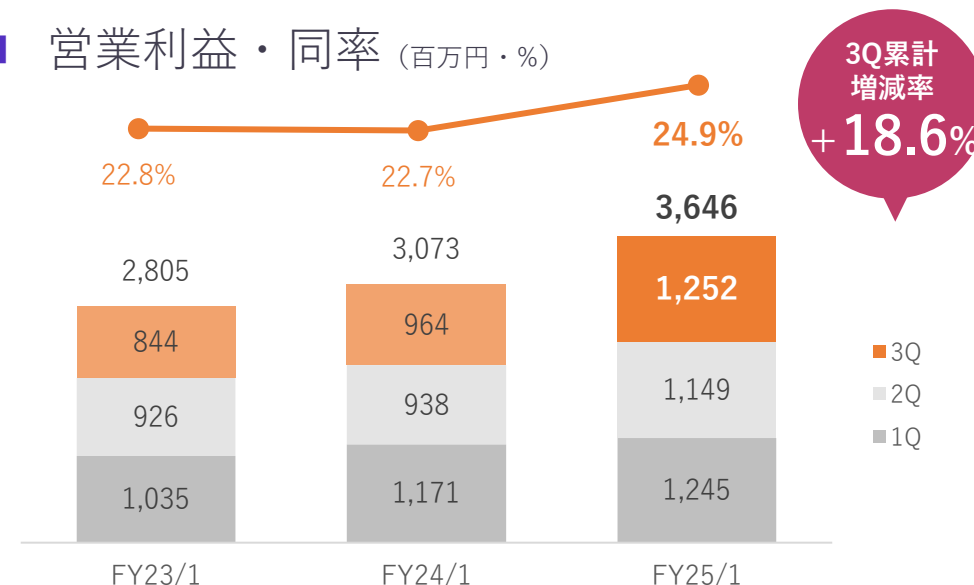
※全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用

デジタルインダストリー事業

■ 売上高 (百万円)



■ 営業利益・同率 (百万円・%)

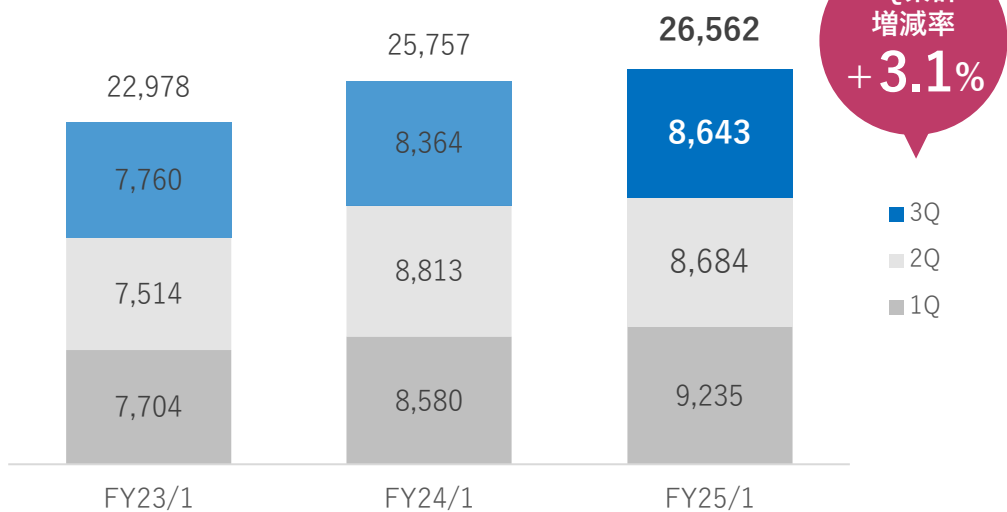


事業区分	売上高増減率	利益増減率	ポイント
スマートファクトリー			・ 工作機械メーカーの投資抑制の影響は残るも、 生産システム開発が伸長 し増収 ・ 利益面では FA開発の増加 および DX伴走支援が増加 し増益
コネクティッドサービス			・ モビリティ関連の クラウド開発 や自動車業界向けの ビッグデータ分析基盤構築が伸長 し増収 ・ 利益面では上記案件の増加に伴い増益
中部サービス			・ 主要顧客における基幹系(設計領域)の システム開発が伸長 し増収 ・ 利益面ではシステム開発の増加に伴い増益
西日本サービス			・ 物流ソリューション「LogiPull」 、顧客システムのリプレイスに伴う EOLサービスが増加 し増収 ・ 利益面ではEOLサービスが牽引し増益

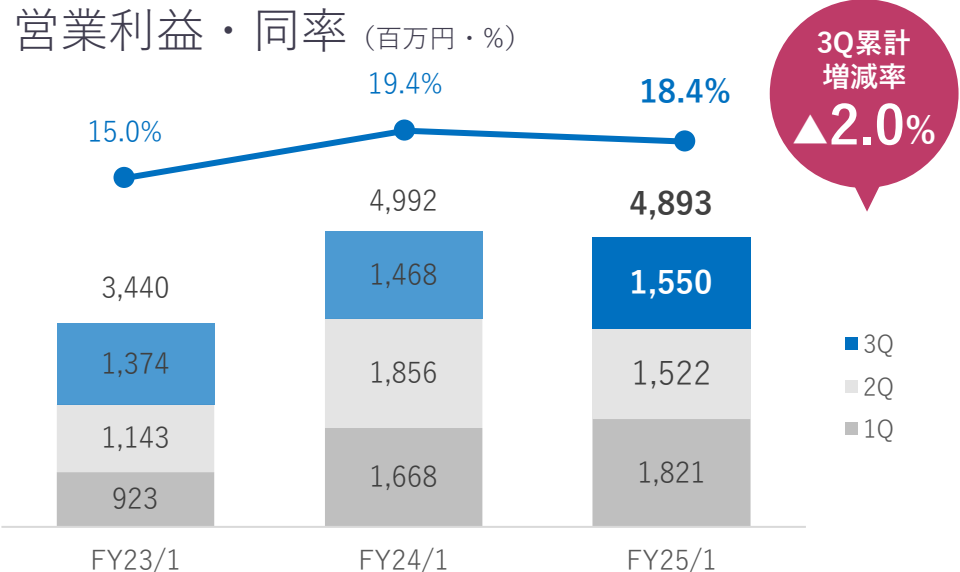
+10%以上
 +5~10%未満
 ±5%未満
 ▲5~10%未満
 ▲10%以上

サービスインテグレーション事業

■ 売上高 (百万円)



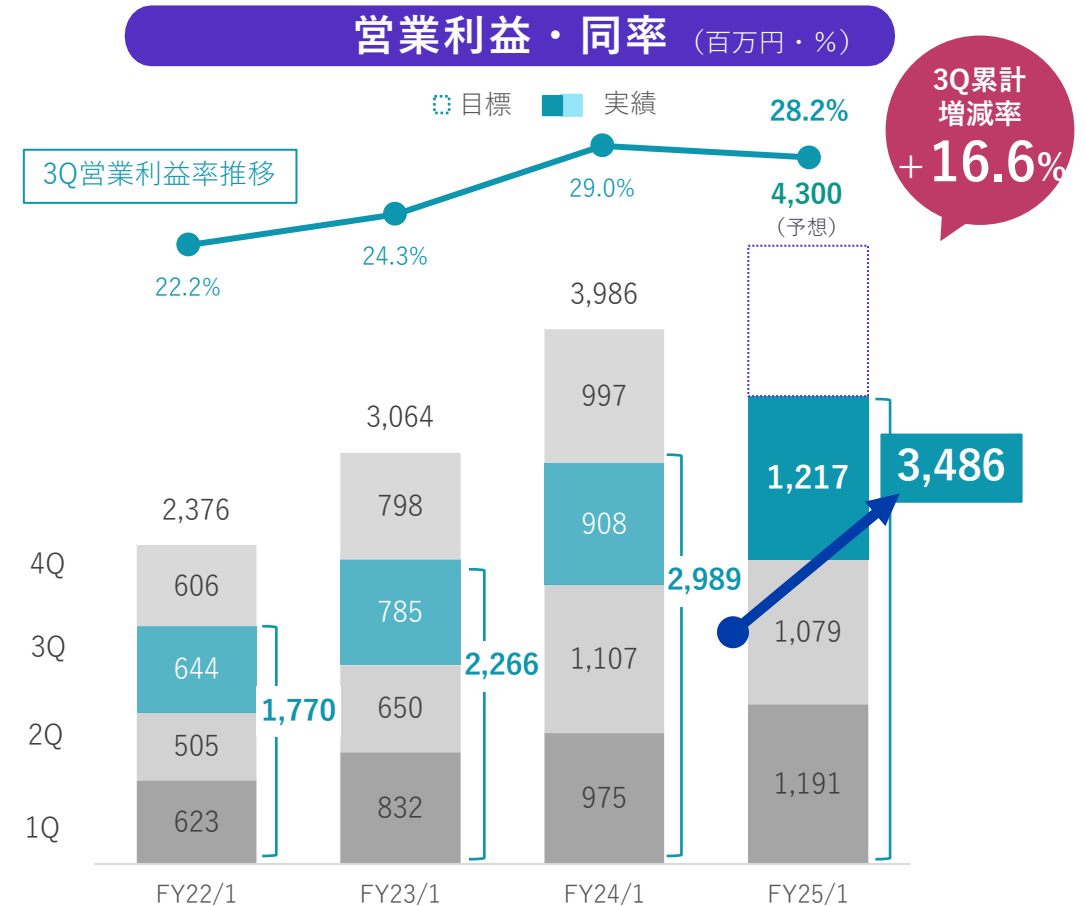
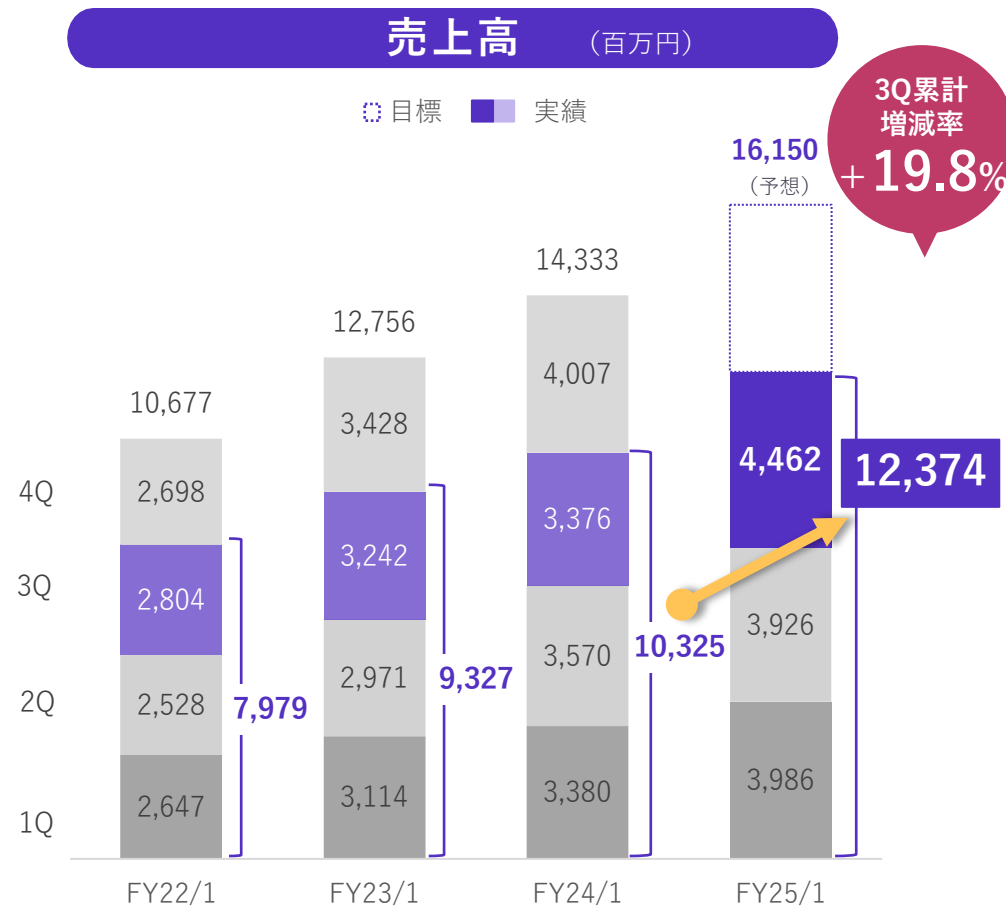
■ 営業利益・同率 (百万円・%)



事業区分	売上高増減率	利益増減率	ポイント
サービスインテグレーション			・ マイクロソフト連携およびマイグレーション案件が伸長し増収 ・ 利益面では、主力事業のシステム開発および注力事業も押しなべて伸長し増益
プラットフォームアーキテクト			・ セキュリティ事業が健闘し増収も、ICTインフラ構築事業は構築案件が来期に延伸し減収 ・ 利益面では、セキュリティ大型案件の反動減および上記延伸の影響により減益
グループ会社			・ 保険業界向けシステム開発が伸び悩んだものの、その他システム開発は前期並みに推移

+10%以上 +5~10%未満 ±5%未満 ▲5~10%未満 ▲10%以上

■ 顧客のDX需要に沿ったICT利活用提案が奏功し、増収・増益



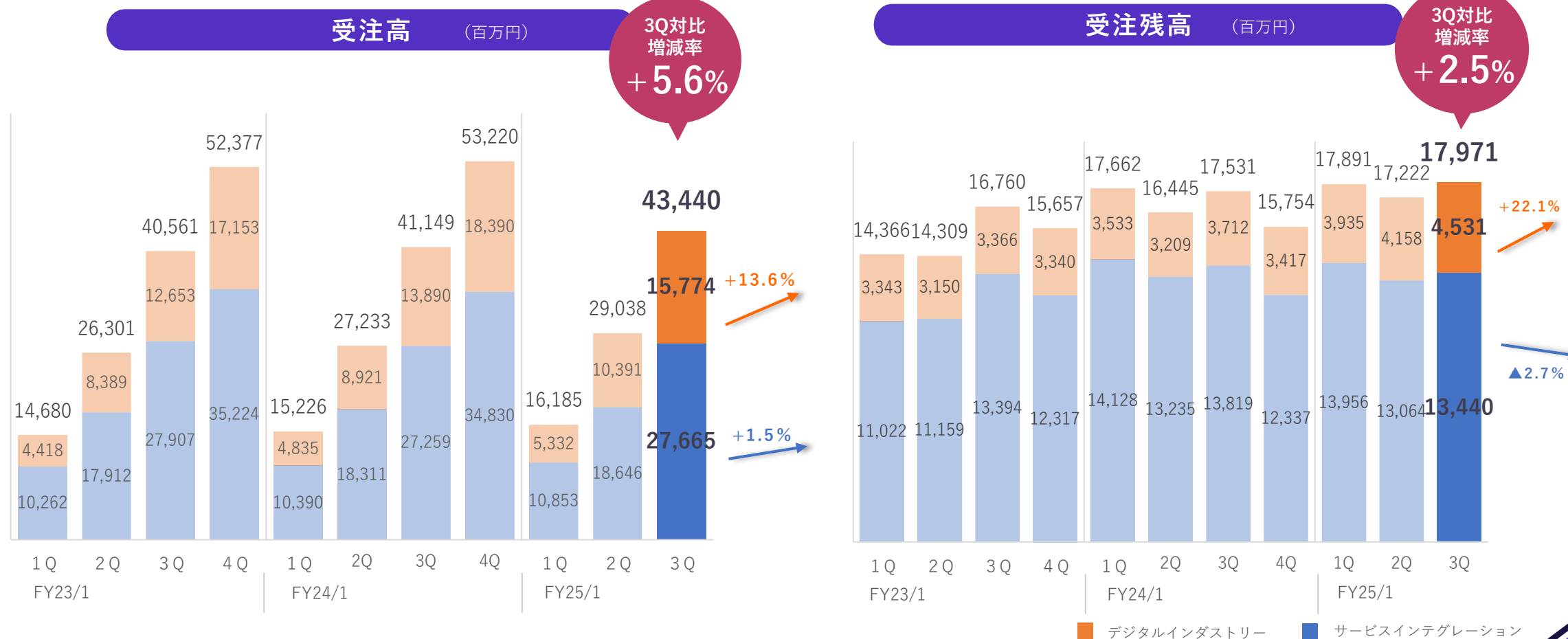
注力事業の進捗詳細

■ モビリティ、マイクロソフト連携が全体をリード

デジタルインダストリー	生産・物流ソリューション	売上高増減率 +28.6%	・生産：主要顧客の投資抑制影響は継続も、製造業DX伴走支援が伸長 ・物流：「2024年物流問題」を背景に、自動車業界向け物流システム開発が伸長
	モビリティサービス	通期目標進捗率 79.0%	・自動車業界向けのクラウド開発やビッグデータ分析基盤構築が好調 ・BEV関連の車載制御ソフト開発が好調
サービスインテグレーション	マイクロソフト連携サービス	売上高増減率 +13.2% 通期目標進捗率 75.1%	・ローコード開発需要が増加し、Dynamics 365およびPower Platformが好調 ・生成AI（Azure OpenAI）サービスによるコンサル案件が増加
	マイグレーションサービス		・クラウド化やセキュリティ強化を目的としたマイグレーションが堅調 ・レガシーマイグレーションの引合いは増加も、案件化までが長期化傾向
	セキュリティサービス		・セキュリティ監視サービス（SOC）は教育委員会、医療系市場で案件が増加 ・自社製品（SmartSESAME）は金融機関向けのPCログオンの引合いが増加
	DXクラウド基盤		・2026年1月期（来期）より、自社製品のSaaS化によるサブスク展開を予定

受注高・受注残高の推移

- 受注高・受注残高ともに過去最高を更新
- デジタルインダストリー：自動車業界向けを中心とした製造業顧客のICT投資意欲は高く受注も増加
- サービスインテグレーション：注力事業を中心に受注は増加も、仕入販売の減少に伴い受注残は減少



業種別売上高

(単位：百万円)

	FY2024/3Q	FY2025/3Q	前年同期比		業種別のポイント
			増減額	増減率	
製 造 業 (構 成 比)	16,889 (43.0%)	18,074 (43.8%)	+1,185	+7.0%	【製 造】 自動車業界向けのシステム開発 が増加
通 信・情サビ業 (構 成 比)	10,367 (26.4%)	11,259 (27.3%)	+891	+8.6%	【通信・情サビ】 キャリア向けのシステム開発 が増加
金 融 業 (構 成 比)	3,471 (8.8%)	3,479 (8.4%)	+8	+0.2%	【金 融】 保険業界向けが縮小も マイグレーション案件は増加
流 通 業 (構 成 比)	2,322 (5.9%)	2,641 (6.4%)	+318	+13.7%	【流 通】 Power Platform新規案件が増加
官 公 庁 (構 成 比)	2,831 (7.2%)	2,635 (6.4%)	▲195	▲6.9%	【官 公 庁】 大型案件の反動減により減少
そ の 他 (構 成 比)	3,393 (8.7%)	3,132 (7.7%)	▲260	▲7.7%	
合 計	39,275 (100%)	41,223 (100%)	+1,947	+5.0%	

貸借対照表

(単位：百万円)

	2024年 1月末	2024年 10月末	増減額	増減率	ポイント
流動資産	39,005	39,017	+ 12	+ 0.0%	【資産】 増加 投資有価証券評価額の増加 保証金及び敷金の増加
うち現金及び預金	26,714	25,599	▲1,115	▲4.2%	
固定資産	12,385	13,479	+ 1,093	+ 8.8%	【負債】 増加 契約負債の増加 賞与等引当金の増加
総資産	51,391	52,497	+ 1,105	+ 2.2%	
流動負債	9,006	10,707	+ 1,701	+ 18.9%	【自己資本】 減少 自己株式の取得による減少 利益剰余金の増加
固定負債	1,597	1,401	▲196	▲12.3%	
自己資本	40,760	40,352	▲408	▲1.0%	
自己資本比率	79.3%	76.9%	—	▲2.4pt	

1. 2025年1月期 第3四半期経営成績

2. 2025年1月期 通期業績見通し

3. Appendix

2025年 1 月期 通期業績予想

■ 通期業績予想は特別損失計上により当期純利益を下方修正

(単位：百万円)

	2024年1月期 通期実績	2025年 1 月期			
		期初予想	修正予想	前回予想比	
				増減	増減率
売上高	53,124	56,500	56,500	—	—
売上総利益/同率	14,096/26.5%	15,500/27.4%	15,500/27.4%	—	—
営業利益/同率	6,361/12.0%	6,280/11.1%	6,280/11.1%	—	—
経常利益/同率	6,409/12.1%	6,300/11.2%	6,300/11.2%	—	—
親会社株主に帰属する 当期純利益/同率	4,541/8.5%	4,300/7.6%	3,700/6.5%	▲600	▲14.0%
ROE	11.6%	12%以上	9.2%	—	▲2.8Pt
配当額(配当性向)	55円 (40.7%)	55円 (43%)	55円(49.1%)	—	—

データセンター事業再編について①

■ データセンター事業再編の概要

事業概要

- ・ 日本国内に4か所のデータセンターを運営
- ・ クラウドサービス、ハウジング／ホスティングサービスを中心にサービス展開

課題認識

- ・ クラウドニーズの増加
- ・ 今後のクラウドサービス強化には、従来型データセンターでは設備の仕様や電源設備能力が十分ではなく、顧客ニーズへの対応が困難

VISION 2030 成長戦略

- ・ 従来型データセンター事業からクラウドサービスを中心とした事業への移行
- ・ ハイブリッド型データセンター※の開設およびデータセンター全体の再編

※ハイブリッド型データセンター：オンプレミスとクラウドベースのインフラストラクチャを組み合わせたコンピューティング環境。オンプレミス上の情報資産とマルチクラウド環境間でのアプリケーションおよびデータ共有を容易にし、顧客の利便性向上を図る。

データセンター事業再編について②

■ データセンター再編理由・スケジュール

対象拠点および再編理由

- ① 新規データセンター（開設）
 - ・クラウドサービスの強化を目的とし、オンプレとクラウドのハイブリッド型データセンターとして事業拡大を狙うため
- ② 神奈川第一データセンター（改修）
 - ・設備の老朽化が進んでおり、新たにハウジングおよびクラウド設備を追加、機微なデータ保管などのニーズに備えるため、設備拡充工事を行う
- ③ 東京第二データセンター（移転）
 - ・設備の老朽化が進んでおり、電源設備能力の点から、今後同センターにて業務の拡大が困難と判断したため、新規データセンターへ移転を行う

③東京第二データセンター（移転）

①新規データセンター（開設）

②神奈川第一データセンター（改修）

2024年12月

データセンター事業の再編に関する適時開示

2025年2月～

- ①新規データセンター営業開始
- ②神奈川第一データセンター設備改修工事開始

2026年4月末

- ②神奈川第一データセンター設備改修工事終了

2027年4月末

- ③東京第二データセンター原状回復および返却

2025年1月期 事業セグメント別業績予想

■ 事業セグメント別通期業績予想は変更なし

(単位：百万円)

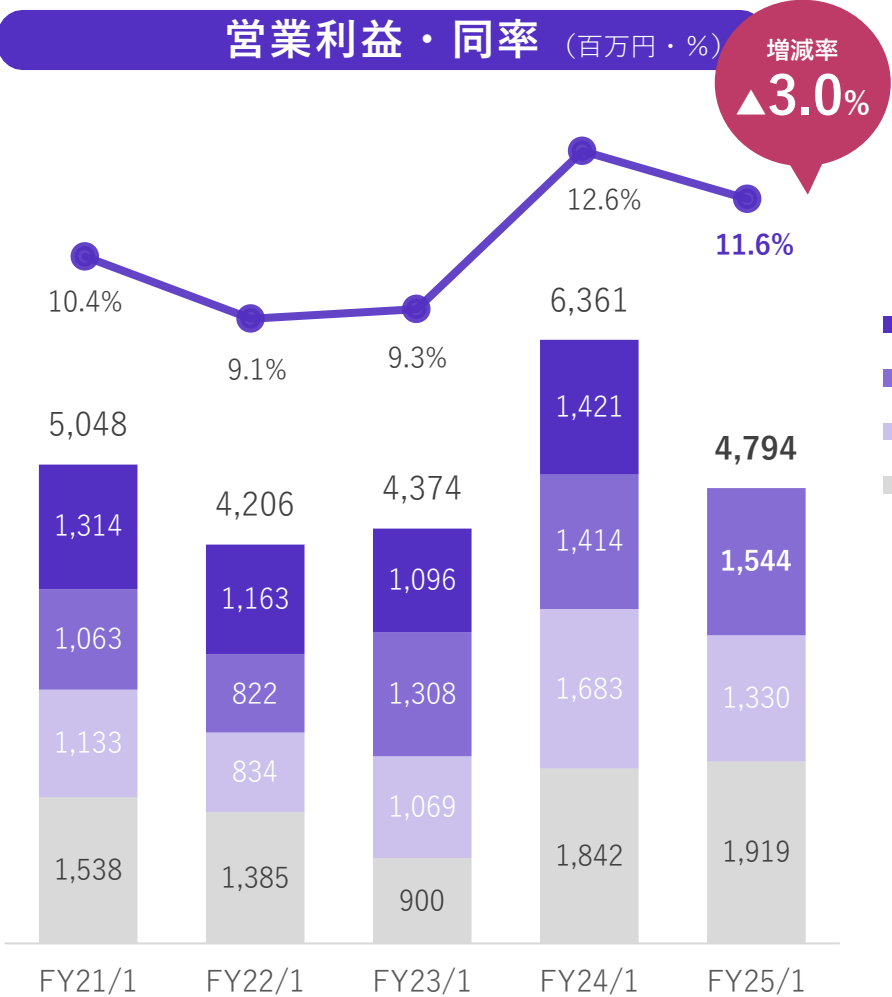
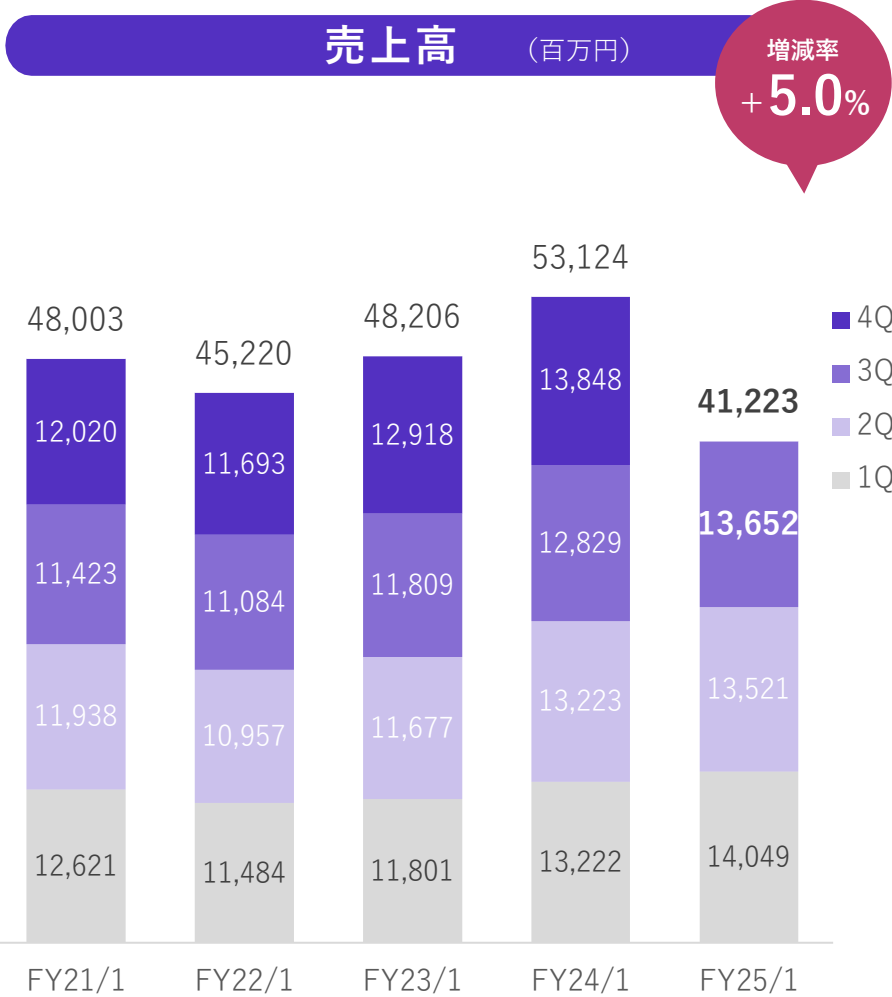
	2025年1月期/3Q		2025年1月期/通期		進捗率	
	売上高	営業利益 同率	売上高	営業利益 同率	売上高	営業利益
デジタル インダストリー	14,660	3,646 24.9%	20,200	4,800 23.8%	72.6%	76.0%
内、注力事業	5,769	—	7,300	—	79.0%	—
サービス インテグレーション	26,562	4,893 18.4%	36,300	6,110 16.8%	73.2%	80.1%
内、注力事業	6,604	—	8,800	—	75.0%	—
全社費用	—	▲3,745	—	▲4,630		80.9%
合計	41,223	4,794 11.6%	56,500	6,280 11.1%	73.0%	76.3%

1. 2025年1月期 第3四半期経営成績

2. 2025年1月期 通期業績見通し

3. Appendix

四半期業績推移

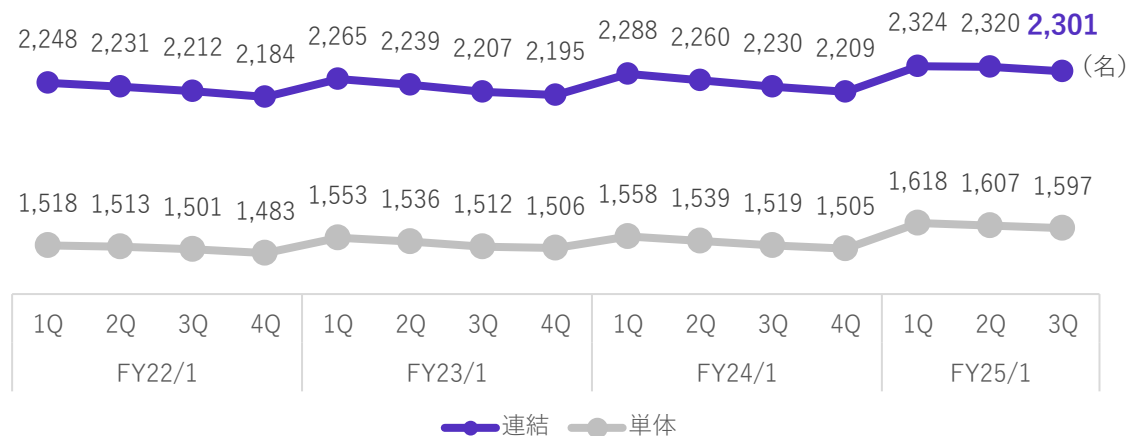


■ デジタルインダストリーおよびサービスインテグレーションが増加

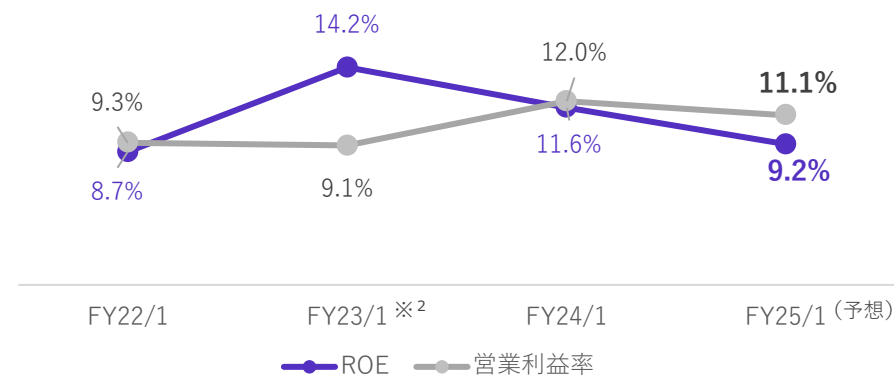
デジタルインダストリー	スマートファクトリー	- 一部の工作機械メーカーの投資が復調傾向のため、工場DX案件の引合いは増加 DX伴走支援サービスが増加傾向にあり、生産管理システムの開発支援が伸長
	コネクティッドサービス	- 自動車業界向けのクラウド開発、ビッグデータ分析基盤構築、車載制御開発が引き続き好調 生成AIを活用した品質検証や開発案件が増加
	中部サービス	主要顧客における部品調達システムの更新に伴うシステム開発案件が増加
	西日本サービス	- 物流ソリューション「LogiPull」は空輸業向けの案件獲得により伸長 - 自動車業界向けEOLサービスが増加
サービスインテグレーション	サービスインテグレーション	- マイクロソフト連携はDynamics 365に加え、Power PlatformおよびMicrosoft 365が増加 - マイグレーションはクラウド移行案件が伸長も、主力事業におけるシステム開発は横ばい
	プラットフォームアーキテクト	ガバメントクラウド関連のリモート運用案件とセキュリティ監視サービス(SOC)が増加 - ICTインフラ構築事業は構築案件が来期に延伸し減少
	グループ会社	主要顧客向けの案件縮小化に伴い減少

その他の指標

■ 従業員数の推移

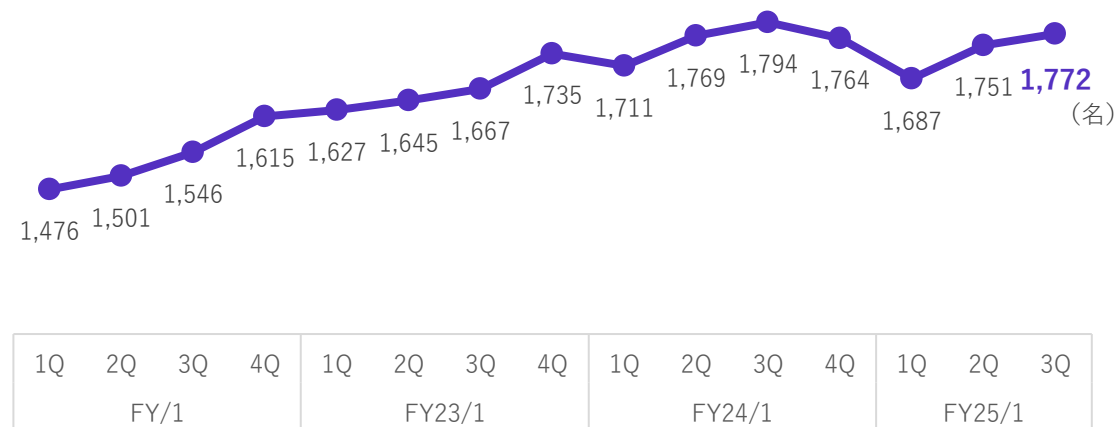


■ ROE・営業利益率推移



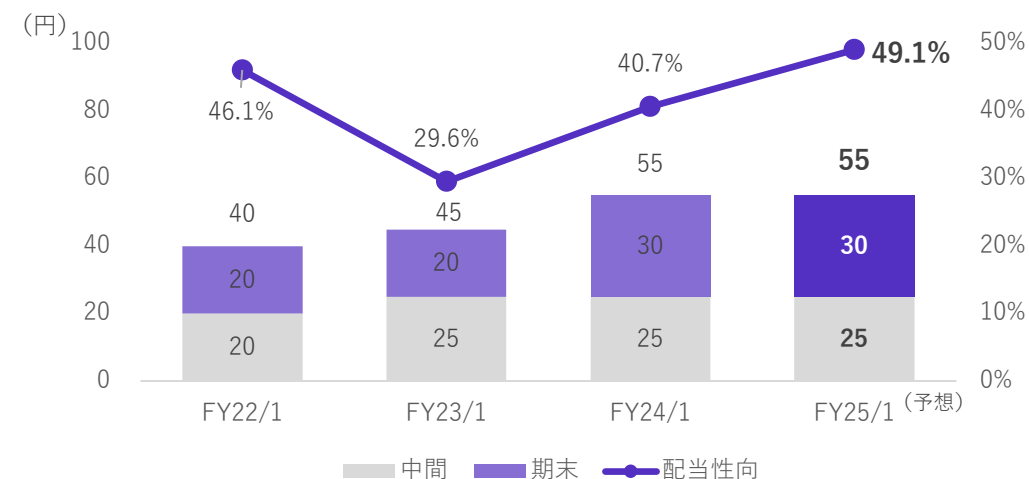
※²2023年1月期 上期は投資有価証券売却による特別利益を計上し5円増配

■ パートナー人数の推移 ※¹

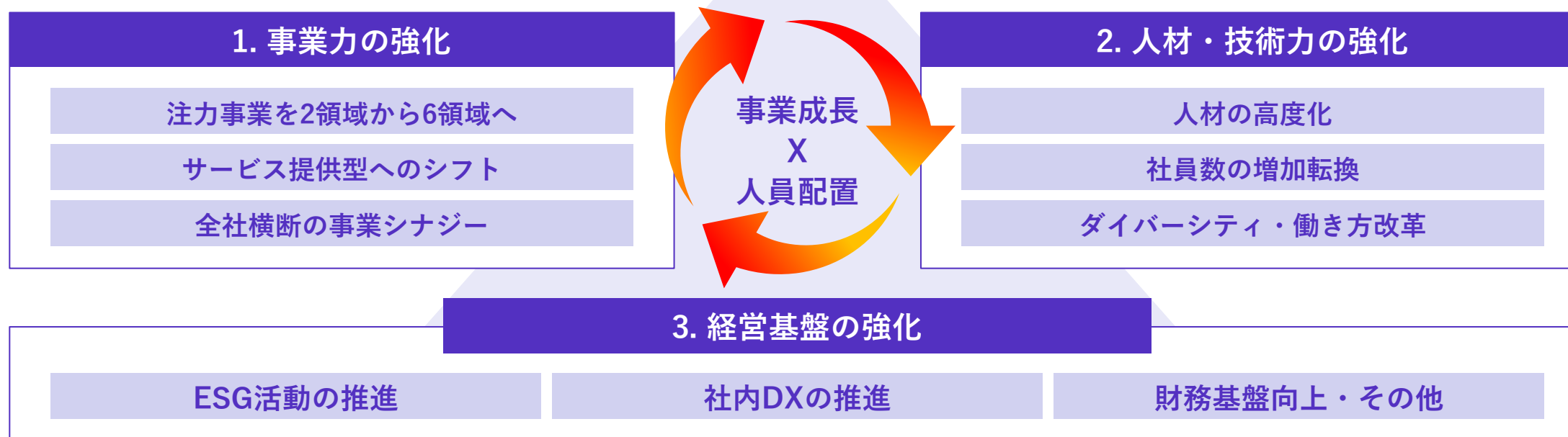


※¹シーイーシー<単体> 請負契約含めず

■ 配当性向および配当金推移



Vision 2025 「ICT技術で未来を創る企業」へ



	売上高	経常利益	経常利益率	ROE・配当性向
経営指標の目標値	565億円	63億円	11%以上	ROE：9.2% 配当性向：40%以上

会社概要

名 称	株式会社シーイーシー Computer Engineering & Consulting Ltd.
設立年月日	1968年2月24日
上場取引所	2022年4月（プライム市場） 2001年7月（東証一部）
資本金	65億8千6百万円
売上高	531億2千4百万円（2024年1月期）
各種許認可	■経済産業省システム監査企業台帳登録企業 ■経済産業省情報セキュリティサービス台帳登録企業 ■プライバシーマーク認定事業者11820032（13） ■JQA認定 ・品質マネジメントシステム ISO9001:2015（登録証番号JQA-1481） ・情報セキュリティマネジメントシステム ISO/IEC27001（登録証番号JQA-IM0007） ・クラウドサービス情報セキュリティマネジメントシステム ISO/IEC27017（登録証番号JQA-IC0040） ・ITサービスマネジメントシステム ISO/IEC20000（登録証番号JQA-IT0005） ・環境マネジメントシステム ISO14001:2015（登録証番号JQA-EM7701） ■電気通信工事業 国土交通大臣（般-4）第28700号 （許可年月日：2022年11月21日）

従業員数	2,301名（2024年10月31日現在）
連結子会社	7 社
本社事務所	〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南1-5-5 JR恵比寿ビル
代表者	代表取締役社長 姫野 貴
事業内容	

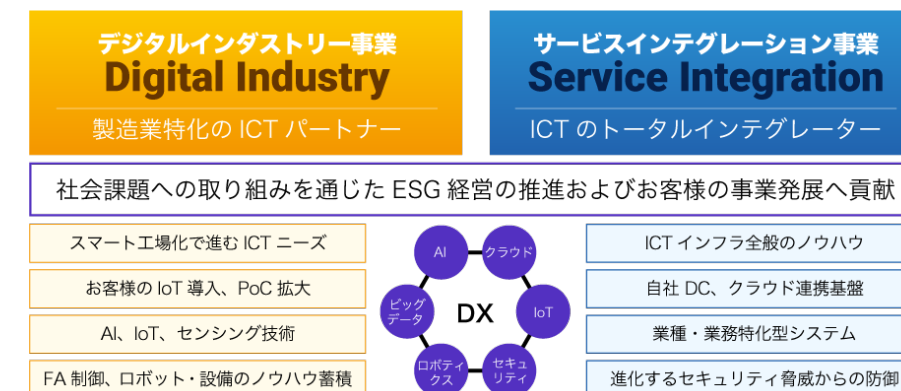
■デジタルインダストリー事業

製造業のお客様を中心に、業務の効率化や品質の向上、魅力ある製品づくりを支援するICTサービス・製品を提供

■サービスインテグレーション事業

企業・組織の業務改革・改善に必要な、ICTライフサイクル全般を支援クラウド、セキュリティ含むICTサービス・製品をトータルで提供

< サステナブルな社会実現に貢献する2つの事業 >



【セグメント情報】 デジタルインダストリー事業

製造業特化のICTパートナー

	事業概要	強み
スマートファクトリー	● 製造業の生産物流分野を対象とする 製品企画、製品開発・システム開発、保守、ソリューションサービス業務	● 工場現場の情報基盤 ● AI画像認識・検知 ● OT領域のノウハウ ● 自社製品のラインアップ
コネクティッドサービス	● モビリティを中心としたIoT コネクティッド分野に関するコンサルティング・システム開発・保守運用、ソリューションサービス業務 ● 車載機器を中心とした組み込みソフトウェア開発に関する業務 ● 自動テスト、CI/CD 構築などの品質ソリューションに関する業務	● クラウド/車両制御など専門知識を持つエンジニア ● モビリティサービスに関する開発知見やノウハウ ● 企画・開発・保守と対応できるワンストップ対応力
中部サービス	● 自動車産業を対象とする技術情報部門(部品表・PDM・CAD)、企業情報部門(販売・ファイナンス・経理)、企業情報部門(人事・生産物流)向けのICTサービス全般	● 大手自動車メーカーとの繋がりや業務ノウハウ ● 創業期からの直接取引による信頼関係 ● 豊富な業務経験(部品表・生産管理・調達・人事・経理)からくるレガシーシステムの知見
西日本サービス	● 関西・北陸エリアの業務SIおよびEOSソリューションを活用したSIサービスを提供 ● 物流・製造領域のIoT 分野を中心とした商品の企画・開発・保守・運用業務・製品サービスの提供 ● FA/産業機器、医療ヘルスケア分野を中心としたシステム開発・検証・保守・運用・導入サービスの提供	● 物流ソリューションにおける顧客別カスタマイズ対応 ● 空港、製造工場などの特殊案件に対する実績

【セグメント情報】 サービスインテグレーション事業

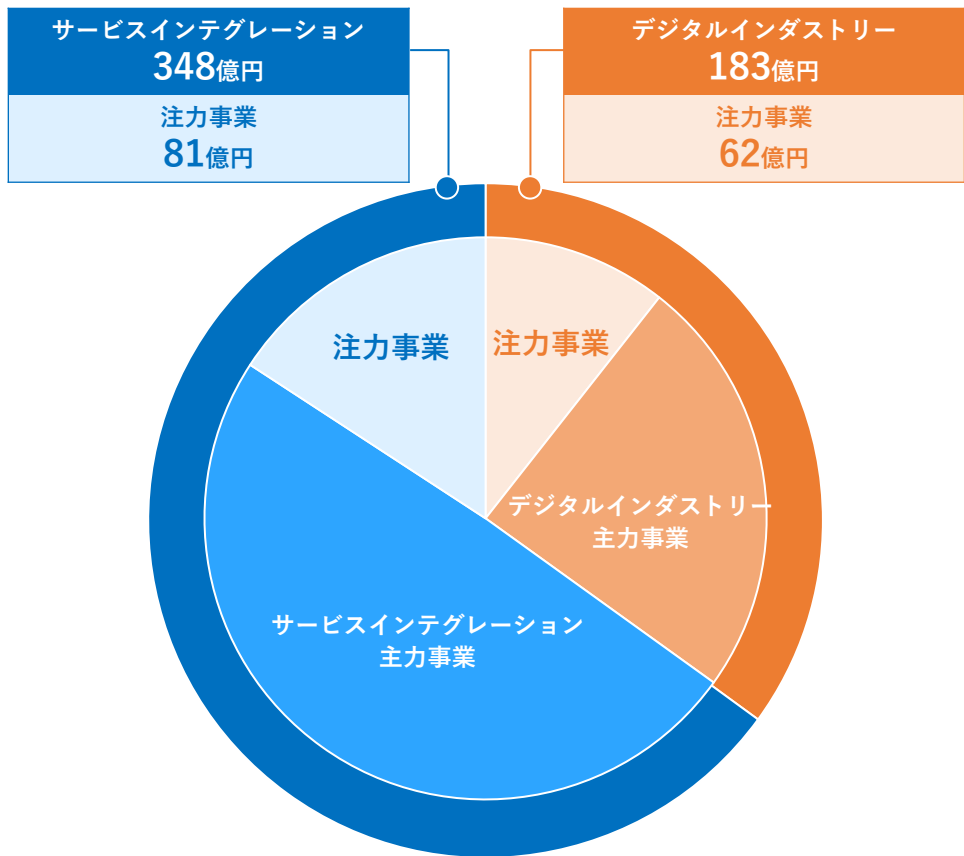
ICTのトータルインテグレーター

		事業概要	強み
サービス インテグレーション	エンタープライズ	● マイクロソフト社のDynamics 365、Microsoft 365、Azure等のクラウドを活用したコンサル・システム開発・保守運用業務 ● 官公庁、自治体向けソリューション・システム開発・保守運用業務	● SFA領域での実績、ノウハウ ● 官公庁、自治体向けクラウド開発の実績
	AXサービス	● マイグレーションサービスを活用したICTモダナイゼーションに関するコンサル・システム開発・保守運用業務	● マルチ対応が可能、ワンストップ対応力 ● 豊富なノウハウ×自動化ツール×専門技術者
	ビジネスシステム	● 銀行・保険・クレジットカード・証券・リースなど金融分野を対象としたシステム開発・保守運用業務	● 金融業務のノウハウを熟知した技術者 ● 開発から運用を含めた一気通貫の提案対応力
プラットフォーム アーキテクト	セキュリティ	● 各種セキュリティサービス、セキュリティ機器の監視・運用業務 ● 認証技術を基盤としたオフィスセキュリティに関する製品開発・販売、ソリューションサービス、システム開発・保守運用業務	● 製品系:マルチメーカー対応、全国の販売チャネルを保有 ● サービス系:マルチベンダー対応、対応監視範囲の広さ
	プラットフォーム	● ICTシステムおよびクラウドサービスの企画検討から、設計・構築・移行・運用までライフサイクルマネジメント全般に関する業務	● ICTインフラの設計・構築・移行・運用までワンストップ対応力 ● マルチベンダー・マルチクラウド対応可能
	データセンター	● データセンターサービス、クラウドサービスに関する業務 ● システムの運用設計・導入支援・運用管理サービスに関する業務	● エンジニア常駐による24H365D対応が可能 ● 100%グリーン電力採用
	グループ会社	● ニアショア開発・構築・保守運用業務 ● 人材派遣サービス	● 大手メーカーとの繋がりや業務ノウハウ

※2024年2月よりサービスインテグレーション事業の組織の再編成を行いました。

注力事業について（2024年 1 月期実績）

全社売上531億円



注力事業：独自の特長を生かした事業分野

デジタルインダストリー	生産・物流ソリューション	Visual Factory® LogiPull®	製造業向けの製品サービスに加え、物流ソリューション「LogiPull」を追加し、生産現場から物流までのデジタル化支援・DX戦略支援を行う
	モビリティサービス	PlusLocation. SimuField®-SC	主に自動車産業のCONNECTED分野における車載／交通ビッグデータを活用したサービスを展開する
サービスインテグレーション	マイクロソフト連携サービス	マイクロソフトクラウドサービス統合ソリューション Convergent®	マイクロソフト社との連携ビジネスを推進、主にDynamics 365／Azure基盤の経営分析・マーケティングでDXを支援する
	マイグレーションサービス	マイグレーションサービス Re@nove リノーフ	レガシーICT刷新、クラウド移行やシステム・アプリ環境のDXを支援する
	セキュリティサービス	トータルセキュリティソリューション CyberNEXT® オフィスセキュリティソリューション SmartSESAME スマートセサミ	ネットワークに繋がるICT要素をセキュリティの脅威から防御する製品群を保有し、セキュリティのコンサル・設計・構築・運用サービスを行う
	DXクラウド基盤	BizVision	クラウドプラットフォームに自社製品のアプリケーションを載せクラウド化を推進

- ✓ 本資料は、投資を勧誘することを目的として作成されたものではありません。
- ✓ 本資料に含まれる将来の業績に関する見通しは、日本経済や情報サービス産業の動向、その他本資料作成時点において入手している情報による判断および仮定により、算出しております。従いまして、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における内外の状況変化等により変動する可能性があることをご承知おきください。
- ✓ 本資料の記載内容は、当社の許諾を得ずに複製または転記、転載等を行わないようお願いいたします。

【お問い合わせ先】

株式会社シーイーシー

コーポレート統括本部 事業推進本部 経営企画部 IR担当

TEL : 03-5789-2442

コーポレート統括本部 管理本部 経理部 IR担当

TEL : 046-252-4111

E-mail : IR@cec-ltd.co.jp